



セブ島通信

セブ日本人会報

2017年7月号
(隔月発行)
発行所
セブ日本人会
5th Floor
Clotilde Commercial Bldg.
ML Quezon St. Casuntigan,
Mandaue City, CEBU
TEL: (032) 343-8066
FAX: (032) 34307663
発行人: 櫻井絹恵
編集人: セブ日本人会
http://www.ja-cebu.com
info@ja-cebu.com

夏祭り・盆踊り大会

大成功の第4回盆踊り大会大成功！の舞台裏では！？
問題だらけの舞台裏――

5月27日・28日の2日間、セブ島で「第4回日比交流盆踊り大会」を開催いたしました。2日間で何と30,000人以上の来場者を記録し、海外で行われる盆踊り大会では最大規模のものとなっています。会場では、様々な日本文化、日本食が体験でき、フィナーレにはフィリピン人も日本人も一緒に踊る「やぐら」を囲み、東京音頭と炭坑節を踊りました。

しかし、その舞台裏では一言では言い尽くすことができない大変なことが起こっていました。一難去ってまた一難。皆様に盆踊り大会運営委員の奮闘努力を少しでもご理解いただければ幸いです。

■開催時期と場所■

まずは盆踊り大会を開催するにあたり、「いつ」「どこで」開催するのかを決めなければいけません。場所に関しては、「前年の2万3千人を超え、来場者を見込んで会場を選定する」という年同様SRPスグボグランドしかない」という意見ですぐにまとまりました。問題は開催時期でした。

■開催時期の変更■

第3回大会までは日本のお盆に合わせて8月に開催していましたが、開催時期を変更すべきではないか、という多くの意見が出てきたため、私たちは何度も議論をしました。

【8月推進派】

・今までずっと8月に行っている
・やはり盆踊りは日本のお盆の時期にすべき
・日本の夏にあたるので、日本人が参加しやすい など

【5月変更派】

・8月は雨期にあたるので雨の心配がある
・8月は旅行業や語学学校は繁忙期にあたるので忙しい
・現地は夏休みなので多くのフィリピン学生が参加しやすい など

【結論】

8月は雨期にあたり雨の心配があるのと同時に、安全面の理由で市からの許可が下りない可能性が出てきたため、セブの夏休みにあたる5月開催に変更することに決めました。

■開催日程の変更■

開催時期に続き、問題となるのが開催曜日なのです。例年、金・土曜日でやっていましたが、金曜日は学校や会社が終わった後の参加になり、運営側、出店側の負担が大きい、という意見が多くなりました。土曜日だけの開催にする案がありましたが、一日だけでは例年行っているすべてのプログラムを行うことはできないので、土日開催にする案でまとまりました。

■目玉イベントプログラム■

以前より盆踊り大会で日本の伝統である「和太鼓の演奏」を行いたいという意見が実行委員会の中にありました。しかし、2012年に開催したジャパンフェスティバルのイベントで和太鼓を招聘したことがありました。その時の苦労を知る理事からは、懸念の声も多くありました。というのも、和太鼓の招聘には膨大な費用と税金に関わるたくさん問題があるからです。しかし「盆踊りと言えど太鼓」です。フィリピン人に本物の和太鼓の音色を届けたい！という思いから、今回世界的に活躍する和太鼓チーム「GOOCO」を招聘することになりました。そのステージをさらに盛り上げるべく、芸術性の高い日本のフアイヤードサーチーム「火付盗賊」に出演を依頼しました。

■目玉イベントの費用問題■

これらの目玉イベントの実現には膨大な費用がかかります。両チームともに通常、海外公演であれば、出演費用だけでも数十万円を下らないチームですが、今回は盆踊り大会の趣旨に賛同いただき、出演費は無料でご参加いただけることになりました。

しかし、和太鼓に関してはまだまだ課題は残っていました。500キロ以上の和太鼓をコンテナで空輸し、関税を通過するそれには予想できない金額がかかってくる。それらを少しでもカバーするために、助成金を申請し、クラウドファンディングでたくさんの方からご支援を募りました。また地元企業の皆様にもご支援を頂き、何とか無事に招聘することができました。

最終的には大きな目玉イベントとなりましたが、今回の盆踊り大会の目玉イベントとして会場を大いに盛り上げてくれたことは間違いないと思います。マイナス分は、理事の中の有志が負担し、今回の目玉イベントを無事に執り行うことができました。

■貧困層へのワークシヨップ■

世界的に有名なGOOCOの演奏を一人でも多くの人に感じてもらいたいという思いから、今回、セブの貧困層の子供たちを招待して、和太鼓のワークシヨップの開催も行いました。異文化、芸術に触れる機会のない貧困層の子供たちにとって、この体験や感動が「未来を描くチカラ」になりました。

文化、芸術に触れる機会のない貧困層の子供たちにとって、この体験や感動が「未来を描くチカラ」になりました。

■イベント会社との衝突■

イベント会社が拡大するにつれて、来場者の安全を考え、我々素人集団でできるイベント規模ではなくなってきました。そこで、将来に向けて継続的にこのイベントを続けていくために現地イベント会社に協力を依頼する運びになりました。しかし、これまで日本人の熱い思いだけで「完全ボランティア」で続けてきたこの盆踊り大会を「利益追求」のイベント会社と共に開催するのは、数々の衝突がありました。

■イベント会社との衝突■

イベント会社などの外部の組織を利用することにより、様々な作業のシステム化を図り、ご協賛社様、出店者様への負担の軽減を試みました。しかしながら、今回委託した業者は当初私たちが期待していたような業者とは異なり、私たちが要求した様々な課題について満足いくような仕事をしてくれませんでした。「期限を守らない」「言い訳ばかりで話が進まない」「過剰な自信」に翻弄されることになりました。私たちとしても、考え方の異なる企業との作業は初めての事で、今後委託についてどうしているかなければならぬかと検討する余地がありました。様々な方々にご迷惑をおかけしてしまつたことを、ここで改めてお詫言ひ申し上げます。

■イベント会社を使うことの弊害■

イベント会社を使うことの弊害は、それだけにどまりません。過去3年間、非営利活動として完全ボランティアで行ってきた盆踊り大会は、これまで市の許可など様々な優遇措置を頂いておりました。しかし、今回営利目的のイベント会社がイベント許可やその他の申請を行うことによつて、それらの優遇を受けることが出来なくなつてしまいました。

そのひとつが、イベント税です。この優遇措置がなくなつた結果、既に印刷済みのチケット3万枚全てに、一枚一枚スタンプを押さなければ開催許可は出せない、と通達を受けることになってしまいました。これが盆踊り大会1週間前の出来事です。緊急で理事が集まり、3万枚のチケットに一枚一枚スタンプを押しました。もうひとつが、出店者様の混乱です。このグリーンカード（食品管理衛生許可書）です。これは、開催数週間前に突然イベント会社から情報が行ってきたものです。内容は「出店者は全員セブ市発行のグリーンカードを取得し、全員のセミナーに参加しなければいけない」というお申込みでもなくハイドルの高いものでした。既にお申込みいただいた出店者様の説明に翻弄する中、あくまでフィリピン流の「しよがな」いじやない「スタイルと貴くイベント会社とは最後まで歩み寄ることができませんでした。この件では、最後まで良く分からないまま出店者様にはご迷惑をおかけしてしまいました。最終的には、何事もなく昨年同様食品の販売ができましたが、そのほか膨大な準備に追われる実行委員にとつて、非常に大きな負担となりました。

■フィリピンボランティア■

そんななかでも、大会委員メンバーひとりひとりが、それぞれの仕事がある中、ひとりひとりの笑顔を振りだすために、熱意と情熱を持って、準備を進めていただきました。そして、今回もフィリピンボランティアも50名以上加わり、まさに絆糸曲折のままで大会当日まで走り抜けるような感覚でした。

大会を裏で支えてくれたフィリピンボランティアについて、少し紹介させていただきます。今回手伝つてくれたボランティアのほとんどが、日本が大好きな学生です。中には仕事をしながら、その合間をぬつて寝ずに手伝いをしてくれてメンバもいます。全員が時間的・金銭的にも決して余裕のあるメンバではありませんが「日本が好きだから」という純粋な理由で、毎年快く裏方の仕事を手伝つてくれています。彼らの力なしには、今回の成功はなかったと思います。

■ISの問題■

今回、実行委員会を一番悩ませたのが、安全対策です。盆踊り大会を目前に控えた4月中旬からボホール島銃撃戦、ミンダナオ島でのテロ事件など、様々なニュースが飛び交いました。領事館とも協議を重ね、最悪の場合、開催を中止せざるを得ないのではないかと話にもなりました。しかし、なんとか開催するためにどうすればいいか、最後まであきらめずに対策を考えました。結果、現地警備会社、警察、軍からの協力を得て、国際会議レベルの安全対策を整えたうえで開催となりました。

そのため、この部分の出費が予算を大幅に超え、大きな赤字を生むことになりました。しかしこの厳重な警備が結果を奏し、大きな事件や事故がなく、無事に盆踊り大会を執り行うことができました。

■来年（2018年）盆踊り大会に向けて■

今年の運営面での失敗から、来年度の盆踊りは止める話も出ました。しかし、今では「Bonder」という単語が、フィリピンに定着していて、多くの人々がこの盆踊り大会を楽しみにしています。今年の反省を生かすことで、来年度はさらに素晴らしい日比交流になるイベントにできればと考えております。すでに来年度の企画運営は始まっております。来年も、この盆踊り大会を楽しみに、会場に来てくれるご来場者に最高の思い出を提供したいと思っております。是非、皆様のご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

■最後に■

本場に、セブにいながら120%日本を味わえる、そんな2日間であつたと思います。その場にいた人々すべてが笑顔になれるこんな素晴らしいイベントを今後も続けて行ければ幸いです。このような素敵な時間を作ることにご協力いただきました皆様、ご支援・ご協力者の方々、心より感謝申し上げます。今年来場できなかった皆様、来年は是非ご来場をお待ちしています。今年ご来場の皆様、来年の開催も楽しみにしてください。さらにパージョンアップした素敵な盆踊り大会を開催いたします。

セブ観音戦没者慰霊祭のご案内

戦後 72 年を迎える本年の戦没者慰霊祭は、8月15日の終戦記念日に下記のごとく挙行致しますので、皆様お誘い合わせの上セブ観音像の御前のご参列くださいますようにご案内申し上げます。式典、慰霊歓談は以下の通りで御座います。
2017年8月15日（火）
場所：マルコポーロホテル敷地内セブ観音慰霊碑前
時間：午前 9 時 15 分受付
午前 9 時 30 分式典セナプロケミカル西川様
10 時 15 分献杯
11 時終了



20TH EIGASAI CEBU

AUG. 2 - AUG. 6, 2017

For updates, visit www.facebook.com/signosaiPH



ASIA CENTER, EMBASSY OF JAPAN, WINCHAM, JICA, JTI, YAMAHA, MITSUBISHI, CANON, AKIRA, etc.

AYALA CENTER CINEMA			
	AUG. 2 WEDNESDAY	7:00pm	Bakuman
	AUG. 3 THURSDAY	7:00pm	Chihayafuru Part.1
	AUG. 4 FRIDAY	7:00pm	Tsukiji Wonderland
	AUG. 5 SATURDAY	4:00pm 7:00pm	The Anthem of the Heart Her Love Boils Bathwater
	AUG. 6 SUNDAY	4:00pm 7:00pm	Sweet Bean (An) Chihayafuru Part.2

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

第四回セブ盆踊り大成功

蝶谷理事

大輪の花火を背景に炎を吹いて舞うフェニックス、それが漆黒の闇夜に変わった時こそ、成功裏に第四回盆踊りが終了した瞬間でした。

「日比交流のため、セブで盆踊りをしようじゃないか」という志を持ったわずか数人の青壮年が声を上げたのが4年前。10年近く前、セブ日本人会理事有志が、マニラの盆踊りを見学したことがありました。当時はその規模に圧倒され、こんなイベントはセブでは到底不可能と早々に降参したものです。それから数年、当時の秦領事の音頭で大使館、領事事務所、商工会、日本人会等の組織がA-1 Japanの体制で、2012年のジャパンフェスティバルを成功させました。

私もその時のメンバーでしたが、達成感に感動はしましたが、例年行事にするのは無理だというのが、実行委員会の正直な総意でした。

然るに、この一団は第一回を成功させたばかりではなく、今年で四回目という壮挙を成し遂げてしまったのです。参加者は毎年増え続け、今年は3万人に近づきました。しかも嬉しい事には、リピーターが多いのです。第一回目から毎年参加と言う若者が目立ちました。

もうセブの定番の年間行事になっっているようです。本来ならば、潮風で涼しいSRPの会場が熱気と興奮に包まれました。今年は、日本から和太鼓集団「GOCOO」の十数台の太鼓とファイアーダンスチーム「火付盗賊」が駆けつけ、更に更に盛り上がりました。異装の男女が腕も折れよと叩く和太鼓の響きと奇声、リズムに身を任せ感動するの国境も民族も年齢もありません。老若男女、誰もが吹き出す汗も忘れて恍惚、感動の境地です。セブでこれほどの規模の日本文化イベントは前代未聞です。

紅白の幔幕を張り巡らせた櫓では、浴衣姿で東京音頭と炭坑節を踊りまわります。全く異なるリズムやフォームを自然に受け入れてしまうフィリピンの人たちの天性の音感には只々脱帽です。GOCOOのメンバーが飛び入りで、櫓の上で団扇太鼓を片手に踊り出します。

会場内は浴衣やコスプレの若者が目立ちます。単に日本の伝統という枠に収まらず、自分たち流の楽しみ方を見出しています。

150店を超える屋台が立ち並び、焼きそばやたこ焼きのソースの香ばしい匂い、焼き鳥、トウモロコシの醤油の煙、ラーメンの湯気、まさに日本のお祭りです。初日は2時間で売り切れの店が続出する大盛況でした。お店の皆さんも出血大サービス、フィ

リピンの人たちにも気楽に日本食を楽しんでももらいたいとの心意気です。既に若い人たちの間では日本食はエスニックフードから一歩も二歩も身近なものになっっているようです。

盆踊り大会

田口富士男

私は・・・
第一回盆踊り大会より毎年ボランティアスタッフとして参加させていただいております。普段はオーストラリアのケアンズに住んでいます。

今から10年前オーストラリアの永住ビザの承認を待つ間、どこに居ても良いとのことだったので、他の国も経験したいと思い、物価が安く・英語が通じると言われていたフィリピン・セブ島を選びました。当初5か月程度の滞在予定でしたが、思いのほか承認に時間が掛り、実際ビザが下りたのは11か月後、なんだかんだで結局13か月もセブに滞在してしまいました。

その間、すっかりセブに魅了され、多くの知人友人ができ、ビザ取得後も毎年、数回渡セブを繰り返し、昨年にはリタイアメントビザをも取得してしまいました。

セブ島にはたくさんさんの魅力があります。そのうちの一つが今回で四回目となった盆踊り大会です。

第一回、二回は日比交流委員会という新団体が運営し、第三、四回は日本人会が運営を引き継ぎました。何故、初回から日本人会が関与しなかったのか？

これには海外特有の日本人会の運営気質というのがあったように思います。

日本人会とは

そもそも世界中の日本人会は日本人補習校をバックアップする団体として発足しています。補習校が文部科学省の認可を得るにはバックアップ団体の存在が絶対条件からです。

世界各国の日本人会を組織する理事はすべてボランティアで、忙しい自分の仕事、家庭の諸事情の合間を縫って運営しています。だから、本音を言えば、忙しいから、お金にならないから、余計なことはやらないで、最低限度の補習校のバックアップだけに特化しようというのが正直なところだと思います。私がいるケアンズにも日本人会はありません。もちろん、この考えのもとに運営されていて、子供のいな

い人や子育てが終わった日本人たちには全く関係のない団体です。

ある時それに不満を持った日本人が集まり、文化交流や日本文化の継承を目的に新しい団体が発足しました。私も発足からこの新団体に積極的に参加して参りました。

ジャパンエキスポというイベントを開催し、ダンボールで本格的なお神輿を作ってパレードしたり、お祭りの屋台を出したり浴衣コンテストなど、日本とオーストラリアの文化交流に汗を流してきました。しかし運営には多大な経費が掛かり行き詰まっしてしまいました。その後、私も日本人会に入会し理事としてケアンズの日本人の輪を広げるべく努力してまいりますが、他の理事の固い意志を変えることはできず、任期満了とともに退会しました。残念な限りです。

そんな折、セブでの盆踊りの企画を聞き、私も日比交流委員会の一員になりました。そのスタッフが、今や日本人会の理事に移行し、現在のセブの活動を支えているのです。

彼らは本業の合間を縫って会合を開き、あんな大掛かりなイベントを成し遂げているのです。セブで三万人を集めるイベントが他にありますか？これは本当に凄い事だと他国で日本人会理事を経験したものとて、いつも感心しております。

ボランティアスタッフの重要性

だから盆踊り大会の成功は、日本人会理事のボランティア精神によって成り立っていることを忘れてはいけません。セブに住む人たちはとてもラッキーなのです。これだけ、活気のある日本人会は世界中探しても、見つからないでしょう。

しかし、いくら日本人会理事が頑張っても、盆踊り等の実施には、実際に動く人間が必要です。そこで活躍するのが、地元学生等のボランティアスタッフです、彼らの協力がなければ成し遂げられないということも忘れてはいけません。特に開催間際の準備には多くの人手が必要となります。このボランティアスタッフをいかに集めるかが、盆踊りの成否を決めると言っても過言ではないでしょう。来年に向けて多くのボランティアスタッフを募集しております。

セブに暮らす日本人の方々、ぜひ、次回は“盆踊りに行く”からボランティアスタッフとして“盆踊りを支える”側に立ってみてはいかがでしょう。より一層、深い思い出になること間違いありません。

語学学校へのお願い
また、セブは今、語学留学生が増えています。これを読んで、学校関係者のみなさん授業の1コマに、“盆踊りの企画運営”というのを加えてみ

てはいかがでしょうか？ 企画書の作成、人員管理、実施、精算、すべて学生によって行われ、先生スタッフはそれを補助するようなカリキュラムを作っている。机上の勉強にとどまらず、実践に即した英語を身に着けることになるのでは無いでしょうか？

次回への期待

盆踊りにお越しいただいたお客様、出店いただいた法人／個人の皆様方々には毎回、ご不便をおかけしております。私から見ても、毎年同じ、過ちを繰り返していると思っております。

三回もやればノウハウがたまってもっと上手く運営できるようになって行くのではないかと思うのですが、そうではありません。そこがフィリピンなのです。分かっているのですが、なかなかできない、ジレンマがフィリピンにはあるのです。

加えて今回はISの不穏な動きの中、ラマダンの時期とも重なり、警備を厳重にしなければなりません。

まだまだ課題は山積ですが、来年の開催も決まったと聞いています。

来年も皆様方のご協力のもとに、より一層、楽しい盆踊り大会が行われることを願っています。私も、微力ながら今後もお手伝いさせていただきます。





ご寄付並びにご協力を頂きました皆様にこの場をお借りして御礼を申し上げます。
まだまだ不手際もございますが引き続き皆さまからのご協力をお願い申し上げます。
盆踊り運営委員会一同



今回も協賛店などのご協力頂き“屋台”も出店いたしますので飲み物や食べ物もたくさんございます。入場料は無料なのでご家族やお友達もお誘いしてお越しください。日本人会会員に限らずお気軽にお誘いしてお越しください。

※出店で希望の方は下記連絡先までご連絡ください。



セブ日本人会の並びにセブ在住の方々

ここにちは。私は、現在 Global Cebu FC という、Philippines Football League (PFL) に選手兼コーチとして所属している星出悠と申します。この PFL は、今年から始まり、元々有りました Global FC から、Global Cebu FC と改名し、Cebu 島をホームとして活動しています。今年の Asia Football Cup (AFC) では、東南アジア地区のベスト 4 という結果や、シンガポールの国際招待大会などにも参加しています。また、国内リーグの PFL は、4 月から開幕されていますが、今までは、グラウンド整備の関係上、マニラで試合をしていましたが、7 月 5 日 (水曜日) から、CCSC で試合が開催されます。Global Cebu FC には、私以外にも日本人の佐々木周、ハーフフィリピン人の嶺岸光がプレーをしておりますので、是非応援して頂けたらと思います。宜しくお願い致します。 < 予定 > 7 月 5 日 (水) 19 時キックオフ vs Ceres Negros FC 7 月 9 日 (日) 19 時キックオフ vs Stallion Laguna FC 7 月 15 日 (土) 19 時キックオフ vs Davao Aguilas 7 月 29 日 (土) 16a 時キックオフ vs Ceres Negros FC

盆踊り大会ご報告

盆踊り大会では様々な華やかな催し物の裏で、フィリピンのゴミ問題、環境問題を考えた活動を行っています。

「ゴミはゴミ箱へ」

ゴミはゴミ箱に捨てる。日本では当たり前のこの習慣が、ここフィリピンでは通用しません。道端でも自宅の目の前でも、人々は平気でポイ捨てをします。また、ゴミの分別もほんの一部でしか守られていません。

そこで、盆踊り大会では毎年、株式会社 GUUN 様のご協力のもと「ECO STATION」を設けて、ゴミの分別とゴミの収集を行っています。ECO STATION では、地元のボランティアが一生懸命ゴミの分別を訴え、一つ一つ手作業で分別を行ってくれました。この取り組みにより、盆踊り大会を主催するセブ日本人会はセブ市長特別賞を受賞しています。

「大切な資源」

フィリピンでは誕生日やその他のイベント毎に Tarpaulin（ターポリン）を作ります。日本語で言えば横断幕やのぼりですが、ターポリンはそれほど高価なものではなく、サイズによってですが 200 円程度から大きなものでも 1,000 円もしません。盆踊り大会でも、ご協賛いただきました企業様のターポリンを会場内に掲示させていただきました。通常のイベントでは、このようなターポリンはイベント終了後にごみとして捨てられてしまいます。しかし、このターポリンは貧困層にとってはまさに家宝です！ブルーシートよりも遮光性、耐熱性、防水性に優れており、家の屋根や壁の補強にうってつけなのです！

今回盆踊り終了後、会場内で使用した全てのターポリンを、DAREDEMO HERO で継続支援する火災被災地区と最近発生したばかりの火災地区に寄付をしました。本当に小さなアクションですが、誰かが動くことによって、ゴミとして捨てられてしまうものが人々に喜ばれ、生活を豊かにする宝物に変身します。

配布から数日後に被災地を訪問すると、早速各家々の壁にターポリンが使用されていました。「これで雨が降っても大丈夫！」「屋根の穴をふさぐことができた！」とみんな大喜びでした。

「盆踊り大会の意義」

この盆踊り大会は、ただのお祭りではありません。フィリピンという異国の地で、私たち日本人が安全に安心して生活ができているのは全て現地のフィリピン人のお陰です。そんなフィリピン人に感謝の気持ちを込めて、日本文化を紹介することが盆踊り大会の意義のひとつです。

日本人には世界に誇る「MOTTAINAI」文化があります。そして、フィリピン人が日本を訪れてまず驚くことが、街にゴミがひとつも落ちていないことです。盆踊り大会ではカラオケやコスプレ、日本食などの文化だけでなく、これらの素晴らしい日本文化も、フィリピンの人々に伝えています。





CLASSIC YOUTH ORCHESTRA 2017

CONCERT SEASON



WITH
PROF. REYNALDO ABELLANA
CONDUCTOR AND MUSIC DIRECTOR





AUGUST 23, 2017
CEBU PARKLANE HOTEL
8 PM
Prof. Francisco Candelaria
Guest Flutist
Carnival of Venice - Briccialdi



DECEMBER 16, 2017
CENTERSTAGE - SM SEASIDE
Prof. Horst-Hans Bäcker
Guest Conductor
with 200 Voices Choir:
Adventist Academy Grand Choir
Sacred Heart Parish Choir
CNU Chorale
Springrain Voices Choir
Coro del Sto. Niño de Cebu
Cebu Metropolitan Cathedral Grand Choir
Handel's Messiah - Carmina Burana
Beethoven's Ode to Joy



Koa Andrews



Prof. Ikeda Daisuke



Prof. Schinichi Minami



Prof. Takahiro Kodama



For more information, please contact
CLASSIC ORCHESTRA MUSIC STUDIO:
0917 309 8481 / 406 3193



7th International Red-White Singing Festival

Sing with us

A Cultural Exchange

Japanese performers will sing Non-Japanese songs while Non-Japanese performers will sing Japanese songs to show respect for each others culture.

Different exciting prizes may be given including a chance to go to Japan.

WANTED PERFORMERS

6TH AUGUST 2017, SUNDAY
ACTIVITY CENTER,
AYALA CENTER CEBU

THE MECHANICS

1. This event is open to different nationalities of all ages.
2. Interested participants may choose to perform solo, duet or as a group.
- 3 For more details, participants may contact the organizer through nobu.nakahara@cebumusic.ph

ORGANIZED BY:
THE WORKING COMMITTEE OF IRWS

AUTHORIZED BY:
MINISTRY OF FOREIGN AFFAIR
JAPAN TOURISM AGENCY
TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT
ASEAN-JAPAN CENTER



平成 29 年 6 月吉日

セブ日本人会の皆様へ

健康に関する講演 & 医療検査のお知らせ

和歌山県立医科大学保健看護学部 保健科学研究室

会員各位

2 年前より長期滞在者の生活習慣病などの調査をして頂いている和歌山県立医科大学 森岡先生による講演が下記の日程で行われます。会員の皆様並びにご家族や知り合いの方々であれば参加は自由になっていますので是非参加してください。

また、会場となる MAAYO MEDICAL のご厚意により簡単な健康診断、血液検査を特別価格にて実施頂ける予定となっています。詳細は追ってご連絡しますのでこの機会を利用して 健康について考えてみてはいかがでしょうか。

日時 : 7 月 13 日 (木) 14 日 (金) 時間は追って連絡します。

場所 : MAAYO MEDICAL Plaridel St.,Brgy Alang-alang Mandaue City 新しい橋 (マクタン橋) のセブ側ガソリンスタンドの隣

電話 : +6332 260 0808

ジャパンレールパス海外在住者利用の注意喚起
6 月からの変更さらに厳しく海外在住が期間連続 10 年以上明確化を追加に

■平成 29 年 6 月 1 日以降の引換証発売からの新たなご利用資格 日本国の旅券及び「在留期間が連続して 10 年以上であることを確認できる書類で、在外公 館で取得したもの等」を有する方 ※ 日本国外での引換証のお買い求め及び日本国内でのパスへの引換の際に、旅券及び確認 書類の提示が必要です。 ※ 旅券のコピーでは、引換証のお買い求め及びパスへの引換はできません。 ※ 確認書類で連続して 10 年以上の在留期間が確認できない場合は、引換証のお買い求め 及びパスへの引換はできません。

■確認書類のご案内 ① 在外公館が交付する「在留届の写し」(在留届の受付日付が 10 年以上前のものに限る。) ② 在外公館が発行する「在留証明」(「現住所に住所(または居所)を定めた年月日」として、10 年以上前の年月が記載されたものに限る。)

※①については、一通の「在留届の写し」において、同居家族の方の在留期間が連続して 10 年以上であることが確認できれば、同居家族の方についても有効となります。

※引換証購入の時点で在留期間が 10 年に満たない小児 (12 歳未満) の方については、①の 一通の「在留届の写し」において「在留期間が連続して 10 年以上である方」と同居していることが確認でき、かつその方と一緒にジャパン・レール・パスを利用する場合、ご利用資格を満たします。

※「在留届の写し」及び「在留証明」は、交付又は発行から 6 ヶ月以内のもののみ有効です。 ※確認書類のコピーでは、引換証のお買い求め及びパスへの引換はできません。

※「10 年以上」については、引換証のお買い求め時点で「10 年前の同じ月」以前のものが 有効です。(例) 2017 年 6 月 1 日に引換証購入の場合「2007 年 6 月」以前のものが有効 (2007 年 6 月 1 日～6 月 30 日は「2007 年 6 月」と見なし有効) ※上記①～③のいずれか 1 つの確認書類を提示いただけない場合は、引換証のお買い求め及びパスへの引換はできません。

詳しくはジャパンレールパスのセブ地域での取り扱い店 日本人が丁寧に対応して頂けるフレンドシップ電話 032-345-3459、JTB 電話 032-260-8024 に問い合わせください。

■発売期間と引換期間・日本国外での引換証の発売期間 平成 29 年 6 月 1 日～平成 32 年 12 月 31 日・日本国内での引換期間 平成 29 年 6 月 1 日～平成 33 年 3 月 30 日

JR6 社のジャパンレールパス資料から引用

ID カード更新のお知らせ

セブ日本人会では2年に1度会員の皆様に配布しているIDカードを更新しています。つきましては近日中に更新用の用紙を配布いたしますので 更新希望の方は速やかに提出をお願いします。IDカードは協賛店 / 協賛ホテルからのサービスを受ける事が出来ます。更に緊急時の連絡先や簡単な身分証明としても使用可能です。会員にとってはかなりのメリットを受けれますので 是非皆様更新の手続きにご協力ください。

未だIDカードの手続きをされていない会員の方もこの機会に取得されることをお勧めします。IDカードの更新、新規は無料です。紛失などで再発行の場合は実費費用負担をお願いしています。負担額は100-200ペソです。



セブの美味しい地鶏を食べに来ませんか?
Q-Bay Japanese Restaurant



Q-Bayは、オープンエアーが気持ちいい気軽に立ち寄れる居酒屋です。一日の疲れを癒しに来ませんか。
焼き鳥は100年続く秘伝のタレと、塩からお選び下さい。長時間コトコト煮込んだこだわりのラーメンもどうぞ。
ランチメニューは ラーメン、弁当など 全品200ペソ以下でご利用いただけます。
☎ 032-401-0402 ✉ qbayresto@gmail.com 📱 Q-Bay restaurant

Map showing location near IT Park



百店は、お風呂もマッサージを併設する居酒屋です。セブに在住の日本人はもちろん、ツーリストや地元セブの方々にもご好評を頂いております。無敵ラン設置ですので、店内ならどこでもインターネットに接続できるなど、嬉しいサービスもご用意しています。

メニュー欄
●ねぎま ●ぎょうざ ●刺身盛り合わせ
●ラーメンほか250種類以上のメニュー！
営業: 朝10時から深夜2時まで



サン
ミゲール
ビールセン
ター

お仕事やゴルフ、ダイビング後のリラックスなどに最適です。一日の疲れた身体を当店自慢のお風呂でゆっくりとほぐし、マッサージサービスもあわせてご利用くださいませ。

Map showing location near A.S. Fortuna St

Tel. No.: (032) 346-0088
A.S. Fortuna Street, Mandau, Cebu

セブ日本人会 協賛店 / 協賛ホテル一覧

■食材店
町屋マート

- ホテル・ビーチリゾート
- Movenpick Hotel Mactan Island Cebu
 - Shangri-La's Mactan Resort and Spa Cebu
 - Marco Polo Plaza Cebu Hotel
 - Waterfront Cebu City Hotel
 - Waterfront Airport Hotel
 - Waterfront Insular Hotel Davao
 - Jpark Island Resort & Waterpark Cebu
 - Crimson Resort and Spa Mactan
 - Maribago Bluewater
 - Blue water SUMILON ISLAND
 - Blue water PANGLAO BEACH
 - Lubi Resort Santander
 - Anemone Resort and Tours Cebu
 - Cebu City Marriott Hotel
 - Radisson blu Cebu

■ダイビング・マリンスポーツ
アクアマリンオーシャンツアーズ
(マリンアクティビティ)

ブダンディン・マリン・ダイバー

- アクアバディス
エメラルドグリーン・ダイビングセンター
- マクタン店
 - サンタnder店
 - モアルポアル店
 - ボホール店

- 飲食店
【マンドウエ市】
- 神楽 (和食)
 - らーめん野武士 (ラーメン)
 - オイスターバイ (シーフード)
 - スキレット (和洋食)
 - HAPPY SUMO(和食)
 - Tao Yuan(中華料理)
 - 松之屋 (和食)

- 【マクタン島】
- だるま (和食)
 - 空海 (和食)
 - 夜桜 (和食)
 - マリバゴグリル (フィリピン料理)
 - 花魁 (和食)

- 飲食店
【セブ市】
- 遊々亭 (和食)
 - はる / 旧さっちゃん (お好み焼き)
 - タランバン店
 - 悟空 (和食) マボロ店
 - ミッキーズ (ケーキ)
 - Q 兵衛 (和食)
 - Jazz'n Bluz (レストバー)
 - TYMAD BISTRO (フランス料理)
 - 夢屋喜兵衛 (和食)
 - AMPERSAND (西洋料理)
 - 寿や (ラーメン)
 - ラーメン空 / やきとり備長炭
 - 秋田 /AKITA (和食)
 - Mio Cafe and Restaurant
(フィリピン料理)
 - 韓陽苑 (焼肉レストラン)

- 飲食店
【セブ市】
- 幸 全店 (日本食レストラン)
 - 麻布 (日本食レストラン)
 - 一力茶屋 (日本食レストラン)
 - Canvas Bistro Bar & Gallery(洋食)
 - Circa 1900(洋食)
 - 一路発 (ラーメン)
 - 但馬屋 (焼肉)

- 美容・健康
- ワウ・セブ歯科医院 (歯医者)
 - スマイルデンタル (歯医者)
 - Japanese Tea Lounge(マッサージ)

- レジャー・スポーツ
セブトップ
(遊覧飛行、体験飛行)

- その他
- Character Studio
(オリジナルグッズ)
 - 誰でもヒーロー (ボランティア)
 - NPO セブンスピリット /Sevnsprit (ボランティア)
 - ジャパン支援センター (退職者ビザサポート)
 - QQ English (英会話学校)
 - D'Tratou Cebu(翻訳業務)
 - Sky Water Park(プール&レストラン)
 - Wabi Linkage Corporation(翻訳業務)

- 旅する
フレンドシップツアーズ

割引き、もしくは特別サービス御座います。
必ず会員証をご持参ください

広告募集中です。セブ島通信の発行費は広告料金でまかなっています。ぜひご協力ください。

【広告料金】①	3 分の 1	2 段	800 ペソ	【お願い】①	最低 6 ヶ月は継続してください。	【お申込みは】
②	2 分の 1	2 段	1,200 ペソ	②	この 3 号分は同一原稿です。	セブ日本人会事務局
③	3 分の 2	2 段	1,600 ペソ	③	お支払は前払原則です。	電話：032-343-8066
④	全幅	2 段	2,400 ペソ	④	完成した原稿をお持ちください。	FAX：032-343-7663

BUSINESS PERMIT PLATE

13-0918
14-0918
23-14077

From: Valeria S. Alagado
Mobile: 0917-123-1234



0917-622-9863





五月六日（土）三時間目に、こいのぼりの行事を行いました。
まずはこいのぼりの由来を説明し、その後、こいのぼりに関するビデオを鑑賞。小学五年生・六年生が「背くらべ」をハンドベルで演奏しました。またみんなで「こいのぼり」を歌いました。そしてかしわもちならぬ大福をみんなで食べました。

【こいのぼり】



【合同体育授業】

六月三日（土）に合同体育授業が行われました。まずはラジオ体操。久富さんによる合気道のレクチャー。中学生に協力してもらい基本となる動きをいくつか披露してもらいました。相手の力を利用し、そんなに力を入れていないにも関わらず、相手の攻撃をかわし逆に相手を無力化する技にみんな興味津々でした。

そして、運動会でもおなじみの台風の目。小学一年生は初めて行つたため、最初はよくわからず、置いて行かれる場面もありましたら、何回かやるうちにすっかり慣れ楽しんでいました。勢い余って転んでしまう生徒もいましたが、最後まで元気よく走りました。

次は今回初めての競技の「大脱走」です。ロープを使い、チームの仲間を移動させるゲームです。ポイントは一度にどれだけたくさんの人をロープの中に入れられるか。そして、その人たちをいかに早く移動させられるか、です。白組はスピードは速かったですが、結局、一度にたくさんの人を移動させた赤組の勝利となりました。

最後にドッチボール。逃げる専門の生徒やいまひとつルールを把握できていない生徒もあり、戸惑う場面もありましたが、たいへんな盛り上



がりを見せました。小学一・二年生は、ドリブルリレーを行いました。

また休憩時間には縄跳びをする生徒もあり、普段、なかなか体を動かす授業ができない分、存分に体を動かしていました。

紅白分かれたの競技は、白組が勝利しました。体育館で初めから終わりまで走り回り、洋服が汗でびしょりになる生徒もありました。

【避難訓練】



六月三日（土）、合同体育授業の前に避難訓練が行われました。

避難する時の注意点

学校で火災や地震が発生したら、講師の指示で決められた避難場所に集合し点呼に協力する。



適切な行動の仕方を知らなかったり、自分勝手な行動を取ると混乱して思わぬ被害を招いてしまつこともあるので、避難する時には四つの約束を守りましょう。

お おさない
か かけない
し しゃべらない
も もどらない
「おかしも」と覚えて、もしもの時には思い出してください。

避難方法



2017年セブ大運動会
開催決定！！

2017年10月8日（日）
7:45AM開始（予定）
場所：FORMER DON BOSCO
BOYS HOME



（地震の場合）机の下に隠れる。
（火災の場合）ハンカチなどで口や鼻を覆う。
煙は高いところに上がるため、姿勢はできるだけ低くする。また煙が充滿し周りが見えないうきには、壁伝いに移送する。避難場所では点呼に協力し、静かに待機する。
いざという時に慌てないためにも、普段から訓練することが大切です。今年は参加人数約四十名が二分二十六秒で一階の駐車場に避難できました。

Good

私のマーヨンな近所

水野

我が家はいわゆるコンパウンドと呼ばれるところに家がある。私が夫と出会った頃は、この辺一帯が空き地であり、果たしてどこからどこまでが誰の所有かなんて、誰も気にせず、テキトーにその辺に掘っ立て小屋を建てて暮らしていた印象だった。実際、我が家も夫の祖母がこの辺に建てていいよって言ったから建てちゃった家で、隣の叔父さんが、ノートの切れ端でこんな感じっていう家の見取り図みたいなのを手書きで描いて持って来て、その翌日から工事が始まったどこまでもテキトーな家だ。

二十四時間営業のコリアンネットカフェのクーラーの室外機の熱風が絶え間なく吹き込んでくるようになった。コンパウンドは、我が家を含め三軒。そのうち一軒は現在人は住んでいない。ちよつと前まで住んでいた叔父さんは、近所に嫁いだ叔母さんに借金をして、返済できないのでこの家と土地を譲ったという話だ。しかしこの譲り受けた叔母さん、実の兄である隣の叔父さんとはあまり仲がよろしくない。隣の叔父さん、自分名義の土地との境界がないことをいいことに、やりた

は人が一人やつと通れるくらいの通路がある。我が家の塀の一部を取り壊し、門を作ろう。早速、近所の大工の叔父さんに計画を話す。一応、姑や隣の叔父さんの許可ももらい、鉄板の頑丈な扉を発注する。すると二週間くらいで出来上がってきた。ではこれを取り付けて、と大工の叔父さんに言う、今、忙しいからちよつと待って」と言われたまま、半年の間、放置された。その間、鉄板の扉は、我が家のテラスに置かれ、犬・猫・鶏の糞尿だらけになり、取り付けるまでに錆びて朽ちるのではないかと本気で心配した。そのうち道路に面している叔父さんのところの門の、オートバイや車が通ることができる大きな門の鍵は叔父さん、人だけが通れる門の鍵は私が管理できるようにになった。早速、自分で鍵を買ってきて、自分で持つ。合鍵は一切、隣の家の人には渡さない。姑に合鍵を渡すと、これまた勝手に鍵を変えるので、我ながらひどいとは思いながらも姑にも渡さず、門限を十時と決め、それまでに帰ってこなければ締め出す旨、通達する。それでうまくいっているのに、今更、裏に専用門を備え付ける必要もないかな、と思っただけ、それなりの金をかけて作らした鉄板の扉、鉄くずにするのももったいない。それよりなにより、邪魔だ。と、連日、ヤイノヤイノ催促し、ようやく大工の叔父さんに扉をつけてもらった。自分でも半ば予想はしていたが、夜、人がやつと一人通れる狭い道をわざわざ入っていくにはかなりの勇気がある。そして結局、開かずの扉となっている。フィリピンではこんなことの繰り返しだ。

女 37 歳 セブ島で楽しく明るい貧乏生活

JUNKO

最近、志向のフィリピン人化が進んできました。私はこれまでも世界中を旅しており、どここの国に行ってもその土地のものを美味しくいただけるという、ありがたい才能を兼ね備えています。しかし、やはり時には日本食が恋しくなることがありました。しかし、最近恋しくなるのが、ドライフィッシュのあの強烈な塩気。フライドチキンに塩とお酢のソース。ふと食べたくなる食べ物がフィリピン料理なのです。朝の通勤途中にタホ（豆腐に黒糖と練乳をかけたフィリピンの朝の定番スイーツ）売りのおじさんを見かけると、つつい呼び止めてしまいます。フィリピンのこの気候に身体が慣れ、身体が塩分や油分、当分を欲しているのかもしれませんが。唯一まだ完全にフィリピン人になり切れていない部分は、身体が野菜を欲しがることです。毎食フィリピン人とフィリピン料理を食べていると、意識しない限りどんどん野菜不足になっていきます。そんな私が今はまっているのが「Alugbati（つるむらさき）」です。Alugbatiはお浸しにしても、ニンニクいためにしても、スープにしてもとてもおいしく食べることができます。さらにすごいのがその生命力です。葉っぱを食べて、つるの部分土に埋めておけば、数週間で見事に新しい葉っぱをつけてくれます。ほぼエンドレスに食べ続けることができるのです。

食べ物だけではなくあります。先日日本からの土産にとアサヒスーパードライをいただきました。しかし、何かが物足りないのです。既にサンミゲルピルセンの味に慣れ親しんでしまっているのです。お気に入りのおつまみは、チッチャロンとお酢です。ぜひ日本の友達にもこの味を知ってもらいたいと、一度お土産に買っていきましたが「豚の皮をあげたお菓子」と紹介したら、食べてもらえませんでした。チッチャロンは、バロット同様日本人には少しハードルの高い食べ物なのだと初めて気づきました。食べ物飲み物は完全にフィリピン人化しつつある私が、唯一まだ慣れないものがひとつあります。それが臭いです。臭いといっても、ゴミ山の臭いやカルボンマーケットの精肉鮮魚コーナーの臭い、スラムエリアの汚水の臭いは全然平気です。私が慣れないのは「ダウニー」の臭いです。フィリピン人スタッフに掃除を頼むと、必ずモップを洗う水にダウニーを投入します。車の掃除でも、最後にダウニーをまきます。たまにバタバタして洗濯を途中で放置していると、フィリピン人スタッフが親切に終わらせていてくれることがあります。しかし、そこからは耐えられないほどのダウニー臭がします。何度モップにダウニーを入れないようお願いしても「いい匂いだから」と聞く気がないようです。

「郷に入れば郷に従え」という言葉にあるように、セブで生活をさせていただいている以上、食事だけでなく様々な慣習や文化を受け入れていく必要があります。ただし、ダウニーは柔軟剤であって、芳香剤ではないことは疑いようのない事実です。そんな細かいことが気にならなくなった時、初めて本物のフィリピン人になれるのかもしれませんが。その点私はまだまだ日本人の枠から抜け出せていないようです。

広告掲載のお礼

この度フリーペーパー各社（セブトリップ、咲楽、セブポット様）のご厚意により日本人会の情報、お知らせを無料で掲載していただくことになりました。いろいろな情報がたくさんの方に発信できるようになり関係者一同喜んでいます。この場を借りて御礼を申し上げます。

セブ日本人会 会長 櫻井絹恵



★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。